

有限会社グリーンハウス

～GAPを活かして農業界のトップランナーへ！～

<基本情報>

所在地: 山口県山陽小野田市
代表: 松村 正勝
構成員: 従業員44名



有限会社グリーンハウス

<経営概要>

経営面積: 施設 4.9ha、露地 5.1ha
主要作物: ねぎ、ちんげんさい
ほうれんそう、ミニトマト等
取引先: 県内市場
認証品目: ねぎ、ちんげんさい、ほうれんそう、ミニトマト

<GAPの取組状況>

30年前に、米麦中心の経営から、野菜栽培へ転換。
平成24年から、安定的且つ持続可能な農業経営を目指してGAPに取り組む。

平成6年	有限会社グリーンハウス設立
平成26年	ねぎ、ちんげんさいでJGAPの認証を取得
平成30年	ねぎ、ちんげんさいでASIAGAPの認証を取得
平成30年	ほうれんそう、ミニトマトでASIAGAPの認証を取得

<経営改善>

GAP導入による、作業の効率及びマニュアル化により、生産性の向上や若い社員の意識の向上。

- ① 生産資材の在庫管理、作業工程の見直しの徹底により、ねぎの回転数の増加(3→4)及び他品目の導入が可能になり、経営の安定化に貢献。
- ② 作業の細分化及びマニュアル化により、作業が効率化され、完全週休二日制の導入等により、新入社員の離職率が低減。
- ③ GAP導入により、・生産量に対する生産経費が37%削減(H26→H30)・生産量については、44%増加(H26→H30)。
- ④ 週一の見回り会、月例会及び年数回の研修会を開催し、社員全員で経営改善に向け、取り組む意識を形成。
- ⑤ GAPによるリスク評価を取り入れた包装センターを新設(H30)。



実需者等への産地説明会



包装センター

<GAPの普及に向けた取組>

県内の生産者や農業を学ぶ学生への研修を実施。
地元の実需者及び消費者にもGAPをPRするなど、フードチェーン全体へのGAPに取り組む意義の認知度向上に貢献。